※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２０

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「Agenda 家庭基礎」　（実教出版）						
副教材等	最新生活ハンドブック　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

消費生活に関する事項、食生活および子どもの発達と保育、住生活に関する事柄を中心として生活の様々な事象や課題と実習や体験学習を通して考える。科学的な理解に基づいた知識や技術を身につけると同時に、多様な考え方があることを知り、自分の考えを形成し、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、基礎的・基本的な技術を身につけている	人の一生と家族。・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	消費・環境	・お金の管理とライフデザイン	a:ライフステージごとの家計の特徴を知る。 b.生涯を見通した家計管理の重要性に気付く。 C:ライフステージに応じた金融商品は何があり、将来利用できる可能性があるものは何かを調べる。	定期考査	定期考査 ワークシート	観察
	食生活	・食品の安全性	a:　食品衛生についての必要な知識を習得することができる。 b:衛生的な食生活を維持するための方法について考えることができる。 c:食品衛生上の課題解決に向けた一連の活動を考え、実践し、改善することができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	観察
		調理実習 「三食丼・マフィン」	a:食品の調理上の性質を理解しているとともに、目的に応じた調理ができる。 b:食品の安全や調理上の性質を考慮した調理について、実践をし、考察したことを論理的に表現することができる。 c:食生活と健康について、工夫して実践し、改善することができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	観察 レポート 自己評価
	消費・環境	暮らしと経済のかかわり	a:生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解する。 b:生涯を見通した生活における経済の管理について、解決策を考え、表現することができる。 c:生活における経済の計画について、課題解決に向けた一連の活動を振り返り、改善することができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	観察 レポート
	子ども	子どもと出会う。	a:乳幼児の心身の発達と生活について理解する。 b:子どもの健やかな発達のために家族や地域社会が果たす役割について、問題を見出し、課題を設定できる。 c:子どもの生活・保育について、課題解決に主体的に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	観察

※令和４年度以降入学生用

後期	食生活	調理実習「「ロコモコ丼とゼリー」	a:食品の調理上の性質を理解しているとともに、目的に応じた調理ができる。 b:食品の安全や調理上の性質を考慮した調理について、実践をし、考察したことを論理的に表現することができる。 c:食生活と健康について、工夫して実践し、改善することができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	観察 レポート 自己評価
	子ども	子どもの育つ環境と社会	a:乳幼児の心身の発達と生活について理解する。 b:子どもの健やかな発達のために家族や地域社会が果たす役割について、問題を見出し、課題を設定できる。 c:子どもの生活・保育について、課題解決に主体的に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	観察 レポート 自己評価
	食生活	調理実習「餃子と二種類のパイ」	a:食品の調理上の性質を理解しているとともに、目的に応じた調理ができる。 b:食品の安全や調理上の性質を考慮した調理について、実践をし、考察したことを論理的に表現することができる。 c:食生活と健康について、工夫して実践し、改善することができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	観察 レポート 自己評価
	衣生活	衣服の機能と着想 これからの衣服	a:ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解する。 ｂ:被服の機能や快適性について、解決策を考え、実践を通して改善し、考えたことを論理的に表現することができる。 ｃ:衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫して実践し、改善することができる。	定期考査 課題提出 （基礎）	定期考査 課題提出 （応用）	観察 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度